

年末恒例・青い封筒募金のお願い（財務部）

12月31日まで募金キャンペーンを実施していますので、皆様の温かいご支援をどうぞよろしくをお願いいたします。



venmo

1. 推奨: Venmo 又は PayPal (<https://www.wjls.org/giving-to-wjls/>)
2. 現金・小切手: 12月の授業日 9:00-10:00 の間、職員室に設置される募金箱に投入、または事務局へ郵送

ご寄付くださった方全員に、本校保護者の安田歩美さんにデザインしていただいた「日本語学校オリジナル干支バッジ」を差し上げます。歴代バッジを並べると壮観で、ご利益がありそうですね！

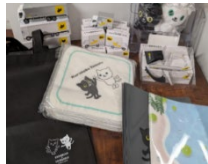


新春ラッフルをお楽しみに！



青い封筒募金期間中に Venmo 又は PayPal で\$20 以上ご寄付いただいた方を対象に、ラッフル（抽選）を実施します。決済時に自動発行される Transaction ID を用いて\$20 を一口とする抽選を行い、当選 Transaction ID を「みらい通信 1月号」で発表しますので、寄付のレシートは大切に保管してください。Transaction ID が発行されない現金や小切手でのご寄付は対象になりませんのでご注意ください。今年も 100 点以上の景品が集まり、当選確率の高いラッフルになりそうです！景品をご提供いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

【ラッフル景品一覧(アルファベット順)】

ITOCHU 商事	JR 東海	Rumico Bakery	SAN-J
カードゲーム、USB メモリ MIKIMOTO 製ミニリップブラシ、ミニミラー、名刺入れモバイルチャーム ポロシャツ 	リニア模型 トートバッグ ハシ鉄(お箸) クリアファイル ボールペン 	ベイク品ギフト券 \$25 × 1 名 *イメージ 	たまり醤油・各種ソース詰合せ 12 本 × 1 名 手作り醤油キット 5 名 醤油工場見学(土 or 日) 1 家族(5 名)+お友達 2 家族 トートバッグ 5 名 
Sushi Taro	WJLS オリジナルグッズ	WTOP ラジオ	ヤマト運輸
食事券 \$300 × 1 名 食事券 \$150 × 2 名 	トートバッグ マグカップ 	スタジオツアー 1 組 	ミニタオル、ミニカー 飛行機模型クリアファイル トートバック ぬいぐるみ 



次期学年代表を募集しています！（学年代表）



現学年代表の任期満了に伴い、次期学年代表を募集いたします。学年代表は、学級代表の方々と連携しながら、保護者の皆さまへの連絡や意思疎通を担う、本校の運営委員の中でも保護者に最も近い立場の役職です。なお、在任期間中および退任後2年間（※在籍2年の場合は計4年間）は、役割当番・学級代表・コーディネーターの選出が免除されます。ご応募お待ちしております！



- | | |
|----------|--|
| 【任期】 | 2026年4月より1年または2年（※ご本人の希望により決定） |
| 【主な仕事内容】 | 学級代表のサポート、運営委員会議に出席、役割当番の希望調査 |
| 【募集人数】 | 高学年代表1名 ※お子さまが高学年（小5から高2）である必要はありません。 |
| 【応募方法】 | 氏名とお子さまの在籍学年を明記のうえ、
学年代表あてにメール(gakunendaihyo@wjls.org)でご連絡ください。 |
| 【締め切り】 | 2026年1月23日（金） |



よろしくお願いします



※立候補者がいない場合は、2月上旬に抽選で選出します。

ご質問・お問い合わせは[学年代表](#)まで、ご連絡ください。



今年も全校アンケートにご協力をお願いします！（教育人事部）

今年も、全校アンケートの時期が近づいてまいりました。全校アンケートでは、役割に応じて大きく3つの種類の質問を設けています。

① 定点観測のための質問

本校を取り巻く環境は常に変化しており、土地柄もあって転出入が比較的多いのが特徴です。毎年同じ質問を継続してお伺いすることで、保護者・教員の目線から「何が変わり、何が変わっていないのか」を把握することができます。

② その年ならではの質問

年度ごとに新しく浮上してきた話題や課題について、タイムリーにご意見を反映するための質問です。

③ 自由記述の質問

選択肢に縛られず、皆様が気づいた点や学校運営へのアイデア、改善してほしいことなどを自由にお寄せいただく欄です。



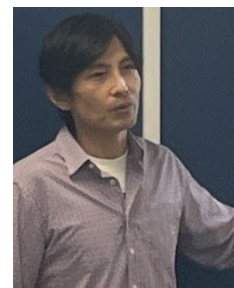
今年度だけでも、安全当番の試験的な負担軽減、理科授業の導入検討、本校生徒・保護者を対象とした大学進学セミナー・交流会など、全校アンケートで寄せられたご意見が後押しとなって実現した取り組みが多数あります。

アンケートは、毎年およそ5分程度で回答できるように設計しています。学校からのお知らせメールを通してご案内いたしますので、その際はぜひご協力をお願いいたします。

【報告】第 15 回 サイエンスサロン開催「AI の頭の中をのぞいてみよう！」（総務部）

今回のサイエンスサロンは、AI 技術の開発に携わり、自ら会社を立ち上げて活躍されている樋川浩之さん（本校保護者）を講師にお招きしました。講義のテーマは「AI の頭の中をのぞいてみよう！」。私たちが普段何気なく使っている ChatGPT などの AI が、実際にどのように考え、動いているのか。以下の4つの疑問を解き明かす形で、お話が進められました。

1. ChatGPT 等の AI はどのように出来ている？
2. 学校で学ぶ数学とはどのように関係している？
3. 人間と同じ知能を持つ AI（AGI）を作る為に必要な能力はなに？
4. 人間と同じ知能を持つ AI の開発は可能？



樋川浩之さん

■「言葉」を「計算」する不思議

講義の前半では、AI が言葉を理解する方法や、AI の裏側にある「数学」の正体が明かされました。AI は単語一つ一つを「数字の列（ベクトル）」に変換し、例えば「王様 - 男性 + 女性 = 女王」のように、言葉の意味を足し算や引き算のように扱っているのです。スライドで単語の集団が立体的な空間に浮かんでいる様子（3D グラフ）を見せていただき、単語同士の「近さ」や「関係性」を AI がどう捉えているのかを視覚的に理解することができました。（興味のある方は以下のリンクで試してみてください：<https://projector.tensorflow.org/>）

また、最新のニューラルネットワークやディープラーニングといった技術も、実は学校で習うような数式や統計（ロジスティック回帰など）の積み重ねでできていること、そして現在の AI の基礎は「膨大な文章を暗記し、確率的に次の言葉をつなげているに過ぎない」という解説がありました。



■ AI に足りないものは？

後半のテーマは「汎用人工知能（AGI）」。人間のようにあらゆることをこなせる AI を作るには何が必要か、という問いに対し、「感情が必要ではないか？」「身体的な感覚（五感）がないと世界を理解できないのでは？」など、参加した生徒たちからは鋭い意見が飛び出しました。

■ AI の未来を作るのは君たち

講義の締めくくりに流されたのは、ノーベル賞受賞者であり AI 研究の第一人者（ジェフリー・ヒントン氏など）が「AI が実際に何を考えているのか、完全には分かっていない」と語る動画でした。AI 技術はまだ「幼少期」にあり、「これからの進化を担い、大きな影響を与えていくのは、まさに生徒の皆さんの世代です」という熱いエールで講義は幕を閉じました。

樋川さんは宿題クラブの共同代表としてクラブの見守りをしています。樋川さんに会って AI のことについて質問をしたい人は、放課後に宿題クラブの教室をのぞいてみてください。

サイエンスサロンでは、在校生に講話を行いたいという保護者の方を募集しております。内容は「理科」には限りません。これまでも様々なバックグラウンドの方にご協力いただいておりますので、ぜひ一度[総務部](#)までご連絡ください。

【報告】青い封筒募金関連記事：放課後理科テスト授業を実施しました！

～共働学習から生まれる「本校ならではの理科授業」～

本校管理運営委員や保護者の方々と構成される「理科授業導入検討小委員会」では、理科がご専門の山内教頭先生にご助言をいただきながら、2024 年 12 月より本校での理科授業導入に向けて検討を重ねてきました。その一環として、6 月 7 日と 8 月 30 日の放課後に中学生を対象とした理科テスト授業を実施しました。借用校舎という限られた環境の中で、理科の授業を行うための課題を確認し、今後のカリキュラム作成に活かすことを目的としています。授業の計画と実施は、山内教頭先生と、かつて本校で理科授業を担当されたストーン先生を中心に行われました。

第 1 回（6 月 7 日）：「生物をつくる細胞～細胞のつくりとはたらき～」



第 1 回は、生物の基本である「細胞」をテーマに実施されました。1 時限目では、まず「cell(細胞)」の語源から生物の最小単位であるという概念を学んだあと、顕微鏡を使ってムラサキツユクサやオオカナダモの葉の細胞、さらにヒトの頬の内側の上皮細胞を観察しました。45 分という限られた時間でしたが、生徒たちは、レンズをのぞきながら、植物と動物の細胞の違いをスケッチにまとめていきました。授業では、ストーン先生が準備した映像も使用し、普段は見られない細胞の世界を鮮やかに体験しました。

2 時限目では、メリーランド大学で研究をされている大島由美子様による特別講義「眼のさまざまな細胞」が行われました。眼に存在する多様な細胞の役割や、細胞の働きと病気の関係などを、研究画像を交えてわかりやすく紹介してくださいました。生徒たちは「私たちの身体の細胞は様々な形をしている」と、生命の不思議、ミクロの世界に目を輝かせていました。

第 2 回（8 月 30 日）：「白い粉末 X の正体は！？～いろいろな物質とその性質～」

第 2 回は、身近な物質の性質を解き明かすことをテーマにした探究的な授業でした。借用校舎では火を使えないため、事前に生徒たちへ 5 種類の「白い粉」が配られ、「舐めたり直接触ったりせずに、自分で考えた安全な方法で性質を調べてくる」という宿題が出されました。授業当日、生徒たちは、実体顕微鏡やルーペを使って粉の形や質感を観察しました。さらに、ストーン先生がご自宅で撮影した実験動画



（粉を水に溶かす、加熱する、酸性・アルカリ性を調べるなど）を見ながら、自宅で考えてきた観察結果も併せて、それぞれの粉の特徴を整理し、班ごとに「粉の正体」を推理。ホワイトボードとして使える教室の壁に結果を書き込みました。答え合わせの瞬間には歓声が上がり、4 班中 1 班が全問正解という素晴らしい結果に。生徒たちは協力しながら科学的に考える楽しさを実感していました。



2 時限目は、島津製作所米国支社（Shimadzu Scientific Instruments, Inc.）の Product Strategy Leader である鈴木里沙様による特別講義「見えないものを見る技術」が行われました。ノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんは、島津製作所の研究員として行った物質の分析に関わる研究成果が受賞の対象となり、現在も同社の研究所所長をされています。特別講義では、分析機器がどのように社会を支えているかを、具体例を交えて解説してくださいました。大気汚染や水道水の検査、ポテトチップスの硬さの測定、麺の伸びの測定など、身近なテーマに生徒たちは強く関心を寄せ、科学の力が私たちの生活を

支えていることに気づいたようでした。

授業後の反響と今後の展望

授業後の生徒へのアンケートでは、細胞観察のような教室内で行う実験や観察だけでなく、事前の家庭での実験やビデオで撮影した実験の様子と結果をもとに生徒同士で議論する学びが大変好評でした。本校の掲げる「共働学習」を実践しながら「本校ならではの魅力」となる理科授業を形にしていける手ごたえを感じる機会となりました。今後は、授業内容に関連した特別講義を「サイエンスサロン」と連携して実施していけるよう、さらなる検討を行なっていく予定です。

最後になりましたが、特別講義を快くお引き受けくださった大島由美子様、島津製作所米国支社長の井上隆志様、鈴木里沙様に心より感謝申し上げます。

委員長からの報告

皆様、今年初めての雪の日はどのように過ごされましたか。現地校が急遽 2 時間遅れになったりお休みになったりした方もいらっしゃるかと思います。今月末には日本語学校も冬休みに入ります。この時期は特別に図書館から多く本を借りることができます（12/6 配信の図書館だより参照）ので、お出かけできないような天候不良に備えてたくさん本を借りておくのもよさそうですね。

12 月の管理運営委員会では、2026 年度予算策定に向けた日程の確認、学校や委員会から配信する広告についてのガイドライン整理等について話し合った他、事務局業務フロー点検・見直し小委員会の取り組みの一つである「疾病安全休暇（Safe and Sick Leave）等の管理」について新たなツールを導入することが、全会一致で承認されました。新ツールについては、事務局を中心に利用開始に向けた準備を進めていきます。また、今回の委員会には、本校の諮問委員を務めていただいている在アメリカ合衆国日本国大使館の川上公使と、オブザーバーとして石黒領事が参加されました。お忙しい中ありがとうございました。

本日は、ベイク・お惣菜 & ブックセールが行われます。ぜひ多くの皆さんにお立ち寄りいただき、お買い物していただくことはもちろん、他の保護者や委員との会話の輪が広がれば幸いです。案外ご近所さんがこんなところに！なんて出会いにつながることもあるかもしれません。今後年度末に向けて、引っ越しや任期満了に伴う委員退任が複数見込まれております。ご興味のある方は、uneiiinkai@wjls.org へメールをいただくか、本日のイベントのような機会に委員へお声がけください。

引き続き、保護者の皆様からのワシントン日本語学校および管理運営委員会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

委員長： 栗原美恵
副委員長： 大久保智夫
総務部： 大光麻紀子（部長）・青柳陽介・魚澤智子・カリクレッテ郁子・ジャコブソン彩子
財務部： 安東宇（部長）・生島奈美
教育人事部： 向山こずえ（部長）・黒木友里・寺部正記・デカストロさやか・中村公紀
広報・PS部*： 竹内由美（部長）・横山優子・渡部智彦
学年代表： ジョーンズ紀子（低・中学年代表）・シーブルック留実（高学年代表）

* 広報・パートナーシップ部の略